

# 施策立案/推進の考え方

## 吉崎市生涯活躍のまち基本指針のKPI（地域再生計画より）

項目	数値
1 移住者数の増加	50人（平成26年）→ <b>200</b> 人（平成31年3月）
2 医療・福祉関連の雇用者数	1,646人（平成26年）→ <b>1,800</b> 人（平成32年3月）
3 サービス付き高齢者向け住宅及び福祉施設の整備	6件（平成26年）→ <b>7</b> 件（平成32年3月）

- 左記のKPI達成を実現するため、実施計画を策定する。
- 吉崎市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定委員会で導出された取組例を実施計画の対象とし、吉崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載されている施策については、すでに担当課にて推進を行っているため、連携施策として整理した。
- 平成32年までの短期間でKPIを達成するためには、吉崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略に定められた施策と本実施計画で定めた施策が有機的に連携することで、相乗効果を引き出すことが重要となる。

取組の方向性	出典	施策群	
<b>移住促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>吉崎ならではのワーク＆ライフスタイルの提案・発信</li> </ul>	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>釣り・大自然・歴史など「島」「吉崎」ならではの移住に係る魅力の訴求（観光商工課）</li> <li>首都圏への専用相談窓口の設置や移住相談会の開催など相談・情報発信体制の強化（地域振興推進室）</li> </ul>	<b>実施計画の対象</b>
	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉崎ならではの「自然」「神社・仏閣」「古墳群」を活かした観光地づくり（観光商工課）</li> <li>「吉崎島ごっとり市場プロジェクト」事業の推進（観光商工課）</li> <li>「福岡に住むより収入が少ないが『10万円』暮らせる」島づくり（政策企画課）</li> <li>生活や仕事の相談体制の整備（政策企画課）</li> <li>吉崎市福岡事務所に相談窓口の設置（政策観光課・観光商工課）</li> <li>吉崎市出身者ネットワークによるPR（政策企画課）</li> <li>ふるさと納税等を活用した情報発信（政策企画課）</li> </ul>	
	吉崎市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉崎と福岡の二地域を拠点とした多様なワーク＆ライフスタイルの提案・発信</li> <li>観光施策と移住施策の連携</li> <li>短期滞在者向け住宅等を活用した二地域居住・就労の体験モニター募集</li> <li>移住や二地域居住に係る金銭的負担を補う収益型移住居住モデルの開発</li> </ul>	
<b>居住環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期ステイも含めた多様なライフスタイル（居住形態）の提案・推進</li> <li>空き家の活用も含めた居住場所の確保</li> <li>いつまでも元気で暮らせる生活環境の確保</li> </ul>	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試し居住プログラムの実施（地域振興推進室）</li> <li>空き家バンクの整備による移住住居の整備（地域振興推進室）</li> <li>老化の進み具合やケアの必要度に応じた住まいの整備（地域振興推進室）</li> <li>サービス付き高齢者向け住宅や福祉施設の整備（健康保険課）</li> </ul>	<b>実施計画の対象</b>
	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試し体験ツアーの企画（政策企画課）</li> <li>お試し移住体験施設や廃校（跡地）を活用した住宅分譲地の整備（地域振興推進室）</li> <li>空き家データベースの整備（政策企画課）</li> <li>移住者への財政的支援（政策企画課）</li> <li>朝・夕の通勤・通学時間に対応した福岡便の発着時間の改訂や増便（総務課）</li> <li>通勤・通学に係る運賃の低廉化（政策企画課）</li> <li>島内交通の充実（総務課）</li> <li>新交通システム導入検討（総務課）</li> </ul>	
	吉崎市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期滞在者向け住宅等を活用した二地域居住・就労の体験モニター募集</li> <li>空き家、公的不動産、宿泊施設等を活用したサービス付き高齢者向け住宅や福祉施設の整備</li> <li>地域交流機能や健康増進機能等を付帯したサービス付き高齢者向け住宅や福祉施設の整備</li> </ul>	
<b>シニア活躍の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>シニアの新しいワークスタイル（就業形態）の提案</li> <li>シニアが経験や教養を生かして地域で活躍する機会の提供</li> </ul>	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事や生きがいづくり等の生活サポート（健康保険課）</li> </ul>	<b>実施計画の対象</b>
	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒・学生への畜産・農業・漁業体験学習や移住希望者への各種講座・研修（農林課・水産課）</li> <li>島外からの企業参入支援（観光商工課）</li> <li>空き店舗の無償貸し出し（政策企画課・観光商工課）</li> <li>観光ガイドの育成（観光商工課）</li> </ul>	
	吉崎市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労機会の提供、ワークシェアリング、創業の支援</li> <li>地域で求められている人材を指定した移住者の募集</li> <li>福祉業と移住者が生きがいを感じる仕事を組み合わせた兼業ワークスタイルの提案</li> <li>移住者の教養や経験を活かした活躍機会や生涯学習の提供による多世代の学びあい</li> </ul>	
<b>オール吉崎の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護サービスを施設型から在宅型へ転換</li> <li>医療介護の人材確保や雇用創出</li> <li>シニアの生活支援サービスの充実・PR</li> <li>地域資源を生かした健康プログラムの開発</li> </ul>	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防・医療予防の支援（健康保険課）</li> <li>介護福祉専門学校卒業者の就業の受け皿づくり（地域振興推進室）</li> <li>島内の医療・介護体制の整備（健康保険課）</li> <li>CCRC導入に係る医療・福祉関連の雇用創出（地域振興推進室）</li> <li>看護師の人材確保（健康保険課）</li> </ul>	<b>実施計画の対象</b>
	まち・ひと・しごと創生総合戦略（CCRC外）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校（農業・漁業・介護等）の誘致（教育委員会）</li> <li>廃校等を活用した教育機関・職業訓練機関等の誘致（教育委員会）</li> <li>高齢者・障害者等を対象とした外出支援サービスや配食サービス等の提供（市民福祉課）</li> <li>吉崎の山と海の景観を活用したサイクリングプログラムの整備（観光商工課）</li> <li>スポーツ関連イベントの充実（観光商工課）</li> </ul>	
	吉崎市生涯活躍のまち基本指針・実施計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉・焼酎・発掘・神社等の地域・観光資源を活かした健康プログラムの開発</li> <li>在宅ケア・看取りへの意識啓発</li> <li>地域包括ケアシステムとの連携</li> <li>医療・福祉人材の移住支援・リカレント教育</li> <li>複数の医療機関における専門人材・サービス等の分担・連携</li> <li>高齢者向け生活支援サービスの開発支援・見える化</li> </ul>	

# 実施計画

## 施策推進のポイント：観光〈二拠点居住〉移住と段階的に地域を整備し吉岐へ人を呼び込む。

### <ハード施策>

- 吉岐での移住生活や二拠点居住をPRやまちづくりの拠点として様々な活動が可視化され島外へのメディアとしての役割を果たすモデル的な空き家を整備する。
- 移住ニーズ等を踏まえて島内に点在する空き家を活用し、吉岐での二拠点居住および移住の受け皿として活用する。
- サ高住やワークスペースについては、廃校や使われていない公共施設を転用し活用する。

### <ソフト施策>

- 実施するソフト施策は、地域の課題や移住者のニーズにフレキシブルに対応するためにリビングラボの思想で具体化および推進を行う。
- 事業の担い手は、福岡地域戦略推進協議会の150会員からなるプラットフォームを活かして発掘し、協議会のメンバーと協働で施策ならびに事業を推進する。
- 基本的には、整備するモデル的な空き家を拠点としてソフト施策を展開し、吉岐のまちづくりを可視化させる。

### 実施計画策定

### 実施計画推進

H28年度

H29年度

H30年度

H31年度



#### 吉岐市生涯活躍のまち推進協議会

吉岐の総合的なPR拠点としてのモデル空き家の整備  
計画>設計>整備

移住/観光ニーズを踏まえた島内の空き家のリノベーションの推進  
(街に必要な機能の導入)

公共施設ならびに公共施設跡地の活用構想の策定

公共施設を転用したサ高住、シェアハウス、福祉施設およびワークスペース等の整備

#### リビングラボによる自律的な地域経営の推進

リビングラボ (施策の具体化・立案・進捗管理)

観光商品/資源の開発 (食のブランディング/モデルツアー開発など)

PR素材の作成 (働き方/暮らし方/観光)

地域経営戦略の具体化 (地域診断/街に必要な機能の特定/健康プログラムなど)

新たな技術を活用した産業創出・住民支援サービスの創出

新たなワークスタイルの具体化 (シニア活用/サテライトオフィス/テレワークなど)

移住体験/二拠点居住体験の実施

吉岐暮らしスタイルの具体化 (高齢者支援/リカレント教育など)

吉岐暮らしスタイルのPR

移住者と地域コミュニティとの交流

持続的な医療・福祉サービスの検討

医療・福祉サービスの提供 (在宅ケア/地域包括ケア/医療・福祉人材の移住支援など)

基本方針および実施計画の策定

ハード施策

ソフト施策

1. 移住者数

**150人増**

2. 医療・福祉関係雇用者数

**154人増**

3. サービス付き高齢者向け住宅及び福祉施設の整備

**1件**